

令和元年第3回木津川市議会定例会

請　願　文　書　表

受理番号	受理年月日	件　　名	請願の要旨	請願者の住所及び氏名	紹介議員 氏　名	付　託 委員会
1-3	令和元年 8月20日	すべての児童・生徒・ 地域住民が安心して 利用できるように学 校施設のバリアフリ ー化を求める請願	<p>文科省は、2013年度以降「インクルーシブ教育システムの構築・推進」を掲げています。インクルーシブ教育システムは、障がいのある者とない者が共に学ぶ仕組みであり、自己の生活する地域において初等中等教育の機会が与えられること、個人に必要な「合理的配慮」が提供される等が必要とされています。</p> <p>そのような動きが進む中、学ぶ場としての学校には「特別支援教育」に対応できる施設としての環境整備を進めることが求められています。肢体不自由は言うまでもなく、発達障害などの場合にも、児童・生徒が突然動き回るといったケースが想定されるので、校舎内の段差を少なくしたり、ぶつかったときにはが少なくなるようにしたりする配慮が必要となります。</p> <p>また、学校施設は、近年頻繁に起こっている災害時の避難場所であることはもとより、普段から地域住民のコミュニティ施設、生涯学習の場として重要な役割を果たしている施設です。そういう施設であるからこそ、誰もが安心して利用できるようバリアフリー化が優先的に求められています。</p> <p>しかし、現実には、木津川市内の小・中学校の中にバリアフリー化が著しく遅れている学校があり、明らかに格差のある状況です。すべての子どもが安心して通える学校、地域住民が安心して利用できる学校にしていくため、木津川市に対し以下のことを請願します。</p> <p>①すべての児童・生徒だけではなく、地域住民も安心して利用できるよう、学校施設のバリアフリー化をすすめてください。</p>	木津川市加茂町里 松田 森幸 木津川市加茂町里 川崎 あき 木津川市加茂町大野 久世 知恵子 木津川市加茂町美浪 田中 道子 木津川市南加茂台 小森 洋子 木津川市加茂町里 早川 久代	山本しのぶ 西山幸千子	総務文教 常任委員会